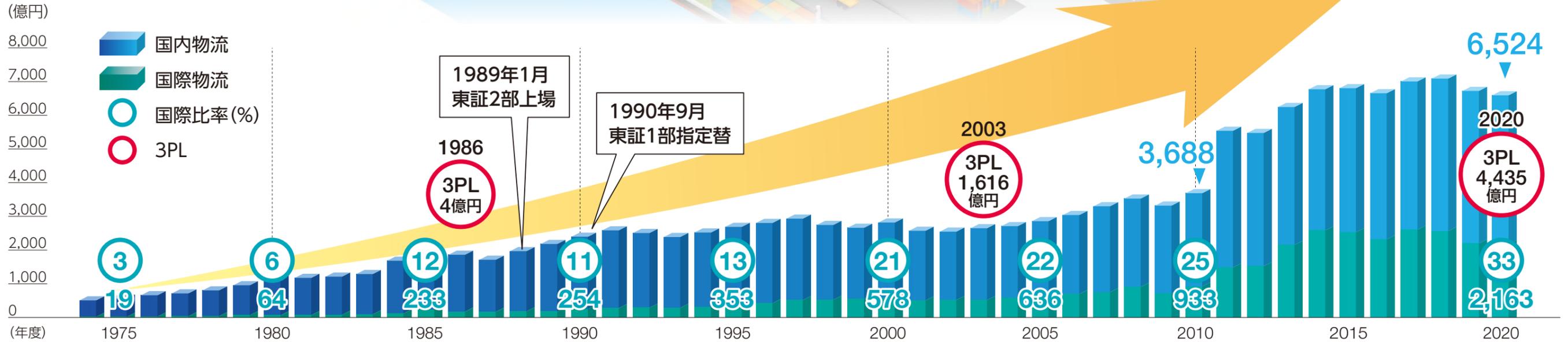


日立物流グループの歩み



売上収益の推移



1950~



運輸部門を統合し独立

(株)日立製作所の輸送業務を請け負う物流子会社として、1950年2月に創業し、貨物運送事業を開始。1967年には西部日立運輸(株)、東京モノレール(株)と三社合併し、日立運輸東京モノレール(株)に商号を変更しました。

1976~



海外進出

海外戦略の布石として1976年にシンガポールで最初の海外拠点となる現地法人を設立しました。また、1984年には航空貨物の拡大を背景として、航空運送事業にも進出しました。

1986~



システム物流(3PL)スタート

1985年の通信自由化を皮切りに、1986年8月にシステム物流の原形となるTRINETのサービスをアパレル顧客向けに開始しました。その後、対象分野を建材、医療、食品などへ拡大していきました。

1998~



大型3PLへの自家アセットでの参入

1998年にアディダス ジャパン(株)、2002年にイオン(株)の物流業務を一括受託し、自家アセットによる大型の3PLへ参入しました。特に2003年2月に竣工した関西NDCIは、当社最大級の庫腹と最新設備を有していました。

2007~



M&Aでの拡大戦略

国内では業界プラットフォーム、海外ではネットワークの拡大をめざし、2007年の(株)資生堂からの物流子会社譲り受けを手始めに、2013年までに国内外で計18社のM&Aを実施。事業規模を大きく拡大させました。

2016~



協創による拡大戦略

2016年3月にはSGホールディングス(株)および佐川急便(株)、2018年10月には(株)エーアイティー、2018年12月には日立キャピタル(株)(現 三菱HCキャピタル(株))、2021年にはMaersk社と提携を行い、協創による拡大戦略とエコシステムの形成を推進しています。